

2025年度第2回町田市指定管理者管理運営状況評価委員会
「2024年度指定管理者の管理運営状況評価結果等に対する委員意見」

1 町田市七国山ファーマーズセンターの評価結果等に対する意見

(1) 神山委員

利用者アンケート調査の配付枚数について	<p>利用者アンケート調査について、調査票の配付枚数が34枚であった。施設の利用人数6,698人に対して、配付枚数が少ない状況である。</p> <p>より多くの方から意見を聴取するため、利用者アンケート調査について、利用者から積極的な協力が得られるよう指定管理者に指導していただきたい。</p>
---------------------	---

(2) 小林委員

業務履行状況の確認にかかる要求水準の設定について	<p>「6. 業務履行状況の確認」の「平等利用の確保」の項目について、要求水準には「利用者に親切で平等・公平な対応が行われている」また、「一般利用者の施設利用の妨げになるような事案が発生しないよう常に気配りされている」とある。</p> <p>所管課によれば、利用者からネガティブなご意見がないことや、団体利用により一般の方が使用しにくかった等、団体が優遇される使い方になっていないかをヒアリングで確認しているとのことである。</p> <p>現在設定している要求水準は、ヒアリングや報告資料で確認するのが難しいため、次回、要求水準を設定する際は内容の見直しを行うよう検討していただきたい。</p>
--------------------------	---

<p>業務履行の確認について</p>	<p>「6. 業務履行状況の確認」の「情報公開体制」の項目について、履行状況には「規定を定めていることを年度協定締結時に確認した」とある。</p> <p>しかし、要求水準は「情報公開の体制に沿って適切な対応がされている」ことであり、指定管理者が施設における情報公開体制をどう整理しているかを確認することが必要だと思われる。</p> <p>規定を定めていることを確認するだけでは不十分であり、また、確認方法として、年度協定締結時ではなく、年度中にどういった体制で対応しているかを確認する必要があると考える。</p> <p>情報公開体制の履行状況については、要求水準に対応した適切な確認を行っていただきたい。</p>
<p>労働条件モニタリングの適切な実施について</p>	<p>「労働条件チェックシート」の着眼点「採用時および年1回、定期健康診断を行っているか」について、「チェック書類」として指定されている書類での確認が行われておらず、ヒアリングで確認したのみであった。</p> <p>労働条件モニタリングの実施にあたっては、労働条件を適切に把握するため、「チェック書類」による確認を行っていただきたい。</p>

(3) 加藤委員

<p>指定管理者の財務状況について</p>	<p>「7. 財務・収支状況の確認」について、指定管理者本部の経常利益率が下がっている。また、貸借対照表の純資産の部「評価・換算差額等」が前年比で大幅に減少している。</p> <p>指定管理業務のサービスの安定性を確保するため、指定管理者に理由を確認し、指定管理者の財務状況の把握に努めていただきたい。</p>
-----------------------	---

(4) 前田委員長

年度事業報告書の記載について	<p>指定管理者が作成する年度事業報告書について、表紙を除いて計3ページ程度の事業報告となっており、利用数等の実績に対する分析や今後の対応等の記載もなく内容が希薄である。所管課は、これまで、記載内容について指導したことはないとのことであった。</p> <p>当該年度の事業を適正に振り返り、次年度以降の指定管理業務の改善につなげるため、年度の課題や今後の見通し・対応策等を記載するよう、指定管理者に指導していただきたい。</p>
業務履行の確認について	<p>「6. 業務履行状況の確認」について、現地調査で確認した項目が2つに留まっており、ヒアリングで確認した項目も散見される。</p> <p>施設の所管課として、指定管理者の業務履行状況を適切に把握するため、業務履行状況は現地調査にて確認するよう努めていただきたい。</p>

(5) 神山委員、加藤委員

講習室の利用者数について	<p>「5. サービスの質に関する評価」の指標2「講習室利用者数」について、2024年度は90組を目標値としていたが、実績は45組であった。</p> <p>目標に対して利用者数が少なく、また、利用者アンケート調査の集計結果の中には、もう少し工夫の余地があるのではといった主旨の意見がある。</p> <p>指定管理者に対して、目標値を下げるのではなく、より良いサービスを提供し、利用者数の向上につなげるよう指導していただきたい。</p>
--------------	---

2 木曾子どもクラブの評価結果等に対する意見

(1) 加藤委員

指定管理者の財務状況について	「7. 財務・収支状況の確認」の指定管理者本部の経常利益率が低下していること、及び非収益事業が大きな赤字となっていることについて、それぞれ理由を確認し、指定管理者の財務状況を把握するよう努めていただきたい。
----------------	---

3 町田市自然休暇村の評価結果等に対する意見

(1) 神山委員

利用者の確保について	<p>「4. 総合評価及び所見」の「指定管理者所見」には、集中豪雨やゲリラ豪雨に伴い利用者が減少している旨の記載がある。</p> <p>利用者の減少、及び収入の減少については、今後も想定される事象であることから、市は、健全な施設運営が行えるよう利用者数及び収入状況を把握し、指定管理者に対して利用者の確保について検討するよう指導していただきたい。</p>
利用者アンケート調査の回収率について	<p>利用者アンケート調査について、回収目標値が50%であるのに対し、回収率44.3%となっている。</p> <p>多くの利用者から意見を聴取し市民サービスの向上に資するため、目標値をさらに高く設定するとともに、回収率をあげるよう指導していただきたい。</p>

(2) 小林委員

自主事業の参加者数について	<p>自主事業として計画した全6回のツアーのうち、5回は催行人数に達しなかったため中止となっている。</p> <p>自主事業ではあるものの、施設の魅力向上や利用者満足度の向上等に寄与する取組であることから、参加者数の増加を図るよう指導していただきたい。</p>
---------------	--

(3) 加藤委員

会計基準改正への対応について	<p>指定管理者となっている法人は、公益法人会計基準を適用している。</p> <p>改正された公益法人会計基準が、2025年4月から施行されている。新しい基準へ適用するまでの猶予が3年間あるが、適用年度を確認のうえ、適切で安定した運用ができるよう指導していただきたい。</p>
----------------	--

4 町田市立総合体育館外3施設グループの評価結果等に対する意見

(1) 神山委員

利用者アンケート調査の設計について	<p>利用者アンケート調査の集計結果について、未記入の回答が散見される。</p> <p>所管課によれば、町田市立総合体育館においては、利用の種目や形態が異なることから、使用しなかった種目や諸室等に関する質問については未記入になるとのことである。</p> <p>できるだけ回答していただけるよう、利用者アンケート調査の設問の設計を工夫するよう指導していただきたい。</p>
-------------------	---

(2) 小林委員

業務履行状況の記載について	<p>「6. 業務履行状況の確認」の「情報管理」の「適切な取扱」の項目について、「施錠された書庫で保管されている」こと等を要求水準としている。</p> <p>履行状況の記載を確認しても、何を書庫で保管しているのかが分かりづらいため、保管している書類を可能な範囲で具体的に記述していただきたい。</p>
業務履行状況の記載について	<p>「6. 業務履行状況の確認」の「地域貢献」の「市内業者の活用」の項目について、町田市立総合体育館は月次報告書で確認したと記載があるが、ほかの3施設はヒアリングで確認したと記載があった。</p> <p>所管課によれば、町田市立総合体育館以外の施設でも、修繕を委託する事業者が市内業者であるかは月次報告書及び年次報告書で確認している一方、消耗品や紙類の仕入れ先については、ヒアリングで確認したとのことである。</p> <p>業務履行状況については、書類で確認できる事項は書類で確認のうえ、根拠資料を記載していただきたい。</p>

(3) 加藤委員

指定管理者の財務諸表について	共同事業体となっている法人の財務諸表について、書類に会社名の明記がなかったため、明記するよう指導していただきたい。
----------------	---

(4) 前田委員長

利用者アンケート調査の回収率について	<p>利用者アンケート調査の目標回収率について、施設ごとに異なる数値が設定されている。</p> <p>所管課によれば例年並みの回収率を想定して設定しているとのことであった。</p> <p>目標回収率については、形骸化することのないよう、前例踏襲で例年の回収率を基に設定を行うのではなく、施設ごとに、様態等にあわせて望むべき回収率を設定するよう指導していただきたい。</p>
--------------------	--